

STEP2 お店の情報を、店舗情報シートにまとめる

完成するもの：AIに毎回貼りつける「店舗情報シート」1枚

目安 9分

なぜ先に情報をまとめるのか

AIは、知らないことをそれらしく作ってしまいます。

「大阪の落ち着いたバー」とだけ伝えると、ありもしない受賞歴や、いない店長を書くことがあります。

これを防ぐ方法はひとつです。先にこちらから事実を渡すことです。

この1枚を作れば、あとは何度でも使い回せます。

埋めるもの（分かる範囲でかまいません）

1. 店名（正式なもの。看板と同じ表記）
2. 業種（バー／スナック／ラウンジ など）
3. 場所（最寄り駅と、駅から何分か）
4. 営業時間と定休日
5. 席数と、店の広さの感じ（カウンター〇席、ボックス〇卓）
6. 料金のしくみ（チャージ、セット料金、飲み放題の有無）
7. 支払い方法（現金／カード／電子マネー）
8. お店の雰囲気や3つの言葉で（例：静か・大人・一人でも入りやすい）
9. よく来られるお客様（年代・性別・お一人かグループか）
10. 他の店と違うところ（1つでいい。無理に作らない）

スマホでの作り方

メモアプリを開いて、上の1～10を番号のまま打ってください。

きれいな文章にする必要はありません。単語で結構です。

例

- ・ 店名：BAR ○○
- ・ 業種：会員制バー
- ・ 場所：心斎橋駅から徒歩4分
- ・ 営業時間：20時～翌3時／日曜定休
- ・ 席数：カウンター8席、ボックス2卓
- ・ 料金：チャージ1,000円、セット3,500円
- ・ 支払い：現金・カード可
- ・ 雰囲気：静か／大人／一人でも入りやすい
- ・ お客様：30～50代、お一人が多い
- ・ 違うところ：マスターが日本酒に詳しい

これが店舗情報シートです。今後ずっと使います。

注意

実際にはないサービスを「あることにして」書かないでください。来店したお客様との食い違いは、口コミの評価が下がるいちばんの原因になります。

この資料は、LINK BRAIN の講座（無料STEP）の内容です。再配布・転載はご遠慮ください。